

JAXA「革新的衛星技術実証4号機」に地震先行現象を調査するキューブサットが選定

静岡県立大学グローバル地域センター自然災害研究部門鴨川仁特任教授と日本大学理学部航空宇宙工学科山崎政彦准教授（提案代表者）で提案するキューブサット「地震先行現象検知による確率地震発生予測実証 CubeSat」は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）「革新的衛星技術実証4号機」の実証テーマとして選定されました。

2004年から2010年にフランス CNES の衛星 DEMETER で VLF 帯電場強度を調べたところ、夜間の地震発生前の4時間以内に VLF 帯電場強度に減少があることがわかりました。本衛星ではこの地震先行現象の起因を調べることに特化したキューブサットです。キューブサットは、ワイド6Uサイズ（1Uは一辺が約10cmの立方体）のサイズで、それぞれ長さ1.5mとなる2つの進展ブームに取り付けられた電場・プラズマハイブリットセンサーを搭載しています。

本衛星はイプシロンロケットに搭載され2024年度の打ち上げを目指しています。

参考）国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

「革新的衛星技術実証4号機のテーマ公募」追加選定結果について（その2）

<https://www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/kakushin04.html#prelude>

お問い合わせ先

静岡県立大学グローバル地域センター

特任教授 鴨川仁

Email kamogawa@u-sizuoka-ken.ac.jp

取材申し込み先

静岡県立大学グローバル地域センター

Email glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

Tel 054-245-5600